

(こくさいか山口 2002年7→9月号掲載記事)

## ～韓国はビッグ 日本はスモール?～

下関市総合政策部国際交流課  
(釜山広域市派遣職員)  
石田 朋彦

韓国釜山に勤務している私にはこの夏は驚きの連続でした。ご承知の通り今回のワールドカップで韓国は4強と健闘しましたが、このことに関連した話を少ししてみます。まず驚いたことは、職場対抗親善草サッカー大会が開催されましたが、みんな、うまい事うまい事、仕事が忙しいのに一体いつ・どこで練習しているのか? センターリングはちゃんと上がって来るし、ヘッド・ボレーシュートあり恐ろしい限りです・・・それも芝生の上でサッカーをするのです。スライディングだって怖くありません。日本の草サッカーでは考えられないことです。子供の頃からこうした環境で育つのです。韓国が強いはずです。

もう一つ、スペインとの対戦でPK戦の末に勝利した時は、韓国が最高に盛り上がった時ではないでしょうか? 片側3車線もある一般道路が赤いTシャツの人・人・人であふれ歩行者天国になったのには感激しました。この一体感はすごい、韓国はやる事が(スケール)が大きいわあ・・・。どこかの国は勤務中にTV観戦自粛令が出たそうで、なさけないやら・・・。

話はすこし脇道にそれてしまいましたが、宿舎の電化製品(歴代職員のお古で10年以上使用しています)が、相次いで壊れてしまいました。やむを得ず買い換えましたが、その大きいこと・大きいこと・安いこと・安いこと、10kg洗濯機が43万WON(日本円で4万3千円) 280L冷蔵庫が38万WON(家庭用冷蔵庫の主流は400L以上ですが)大きさを1.5倍、値段で半分でしょうか? ただし、韓国の製品は使い手に立ったきめ細かな配慮に欠けているような気がします。

知り合いの主婦の方々に、日本の物で何が欲しいですかと尋ねたところ、電化製品との答えが多くありました。理由は、デザインが良い・性能が良い・信頼が出来るとのことでした。韓国製品が悪い訳ではありません。私自身愛用しておりますし、何の不具合もありません。しかし、日本製品にはそれ以上の何かがあるのでしょうか?

世界は機能が同じならなるべく小型・軽量化しようとするダウンサイジングが進んでいます。資源に乏しい日本ならばではないでしょうか? そしてモーダルシフト(環境に配慮した物品運搬方法: 拠点から拠点はトラックから列車・船などの大量輸送に変更すること)も、ゆっくりですが着実に進行しています。

おおらか・ビッグ韓国はまだ、大は小を兼ねる製品が数多く見受けられます。製品本体は、まだまだ輸出しにくいかもしれませんが、スモール日本は、これからはこうした技術・アイデアを輸出できないものでしょうか?・・・

今回は若い女性の今をお伝えしたいと思っております。